

★ そらっちニュース ★

第34号

平成28年3月発行

発行：空知4Hクラブ連絡協議会

編集：空知総合振興局産業振興部農務課

「平成27年度 空知青年農業者会議」を開催

平成27年12月3日(木)、空知4Hクラブ連絡協議会の行事の1つである「平成27年度 空知青年農業者会議」が開催されました。空知管内から4Hクラブをはじめとして、北育ち元気塾、沼田町農業研究会、妹背牛繊維研究会など青年農業者を中心に131名が参加しました。

【午前の部:アグリメッセージ部門】

青年農業者が取り組んでいる農業経営や地域活動の経験を通じて、感じていることなど自身の意見を述べるアグリメッセージ部門では、6名が出場しました。発表者は、就農に至るまでの経緯、海外研修で感じた・学んだことや今後の目標・決心などの熱のこもった思いを力強く伝えていました。

(川端 祐平さん(由仁町4H)の発表の様子)→



【午後の部:プロジェクト発表部門】

青年農業者グループ又は個人が、自ら研究・工夫したプロジェクト活動の経過や成果を発表するプロジェクト発表部門では、12名が出場し、肥料利用効率の向上や水稻の育苗方法、小麦の有力品種の品質向上などについて発表しました。

←(秋葉 遼平さん(ながめま4H)の発表の様子)



【講演会】

「自分の性格を知り、第一印象を磨く～コミュニケーションを少しでもスムーズにしたい～」と題し、NPO法人赤い糸プロジェクト代表理事の大澄 宣枝氏に自身の性格把握から性格別の付き合い方、婚活マナーについてまで一部実践例を交えて御講演いただきました。講演後には青年農業者から活発に質問が挙がり、参加者一同に大変有意義な時間となりました。

(講演風景)→



平成27年度 空知青年農業者会議



↑(空知4H連協 瀧野会長(右)、
金田局長(左)と受賞者の皆様)

【表彰及び交流会】

各部門の受賞者は以下のとおりです。

○アグリメッセージ部門

—最優秀賞—

由仁町4Hクラブ 川端 祐平さん

○プロジェクト発表部門

—最優秀賞—

ながめま4Hクラブ 秋葉 遼平さん (園芸・特産作物)

—優秀賞—

南幌町4Hクラブ 河村 将史さん (土地利用型作物)

北育ち元気塾 岩田 祥也さん (土地利用型作物)

会議終了後は恒例となっている交流会が催され、広い空知管内の農業者との相互交流が図られていました。

平成27年度北海道青年農業者会議結果報告

平成28年1月28・29日の2日間にわたって平成27年度北海道青年農業者会議が札幌市の北海道自治労会館で開催され、空知青年農業者会議で表彰された4名（前頁参照）が発表しました。結果は、アグリメッセージ部門で川端祐平さん（由仁町4H）の「Answer」が最優秀賞となり、平成28年3月8・9日に東京で開催される全国青年農業者会議の代表となりました。また、プロジェクト発表では、土地利用型作物部門で岩田祥也さん（北育ち元気塾）の「2回転育苗の可能性を探る」が優秀賞を獲得しました。

・河村さん（南幌町4H）の発表風景→

・川端さんと由仁町4Hのみなさん↓

・岩田さんと発表補助者の山岡さん（北育ち元気塾）↓



平成27年度全国青年農業者会議結果報告

平成28年3月8・9日の2日間にわたり東京の国立オリンピック記念青少年総合センターで開催され、川端祐平さん（由仁町4H）が発表しました。残念ながら入賞は逃しましたが、全国の中で堂々とした発表ぶりでした。また、全国の青年農業者と交流を図り、「空知」・「由仁町」の名前を広めることができました。

・アグリメッセージ発表風景→

・開会式の様子↓



加盟4Hクラブの紹介

ながぬま4Hクラブ（構成員 20名）

こんにちはながぬま4Hクラブ空連役員の齊藤です。これからはながぬま4Hクラブの紹介をさせていただきます。

当4Hクラブは現在、全20名で活動しています。そのうち結婚している部員も5分の1程度おり、年齢層は20代から30代前半です。

部員の主な作物として、水稻、小麦、大豆、玉ねぎ、長ネギ、ブロッコリー、トマト、アスパラ、白菜、カボチャが挙げられます。また、養鶏農家を目指している部員もおります。去年からは一部部員の間でパクチー栽培が行われており、長沼町の夏秋の催しである「タやけ市」での直売出品と農協の出荷施設を通して市場への流通を成功させました。野菜や米や卵など生産農産物の直売についても意欲があり、先述のタやけ市、初出店の北広島くるるの杜、部員が主催する長沼ハイジ牧場での収穫祭と音楽を混合したフェスへの参加など、多くの経験を積みました。直売出店はながぬま4HクラブのPRと共に、2次、3次産業への理解を深めてこれからの自分達の農業経営へ反映し得る有意義なことだと感じています。

部員一同「夢と笑いのあるながぬま4Hクラブ」をスローガンに、飲み会などを増やしつつこれからも4H活動に精を出して参ります。



著者：齊藤 雅博



「タやけ市」の様子

